

すべては子どもたちの笑顔のために



東信教育事務所だより

響

No.3



〒384-0006 小諸市与良町 6-5-5  
TEL.0267-31-0250 (代)  
FAX.0267-31-0140  
http://www.pref.nagano.lg.jp/  
toshinkyō/index.html  
令和元年(2019年)7月19日(金)発行

連載「響く声」

## 授業改善に向けた校内研修の充実を ～ 研究主任研修会報告 ～

—No.3の内容—

◆連載「響く声」  
研究主任会報告

◆特集  
信州型UD 学校支  
援事業

◆特集「初任者研修」  
授業力向上研修 I  
より

◆家庭学習の充実を  
考える①

◆舎窓から

◆生涯学習課より

### 研修Ⅰ 「課長講話」から

教師の専門性、学び続ける力。同僚性を大切に、共に学び合える職員集団となれるよう、教材研究、重点研究などの場面で、先生方をつないでいけるようになりたいと感じました。～感想より～

### 研修Ⅱ 「日常の授業を振り返り、

授業改善につなげる研修のあり方（信州型UD研修）」から

「信州型UDカード」を使った研修を  
体験していただきました。

- ・学校に帰って、職員会議の前15分で研修してみます。
- ・「子どもの視点」から掘り下げること、あらためて大切さを感じた。実践に生かしたい。
- ・どの着眼点を切り口に話をし、日頃の実践を振り返るのか、大変可能性がある研修になると感じた。～感想より～



校内研修を進める一つのツール「信州型UDカード」。授業づくりや学級づくりにかかわってのヒントをつかみ、明日からの実践に生かしていただけたらと考えています。

どの子も「できた」「わかった」という手ごたえを実感できる授業づくりを考えていきたいです。

### 研修Ⅲ 「授業改善に向けた研究推進構想について（グループ協議）」から

各校の取組の様子

- ・授業を見合って授業改善
- ・授業と家庭学習の一体化
- ・各種調査結果分析から見いだした課題を全職員で共有して授業改善
- ・授業後、単元終了後に子どもたちが自分の成長を感じられるような授業づくり
- ・学び合いの環境づくり（安心できる学習環境・認め合える学級） など

各校の工夫された取組がグループ内で共有されました。自校のPDCAサイクルをまわして、授業改善に向けた取組を充実させていけるといいですね。



特集  
「信州型ユニバーサルデザイン(UD)学校支援事業」

この事業が目指していることやどのようなことに取り組むのか、具体的に知りたいな。



# UDカードを活用した研修会を、ぜひ

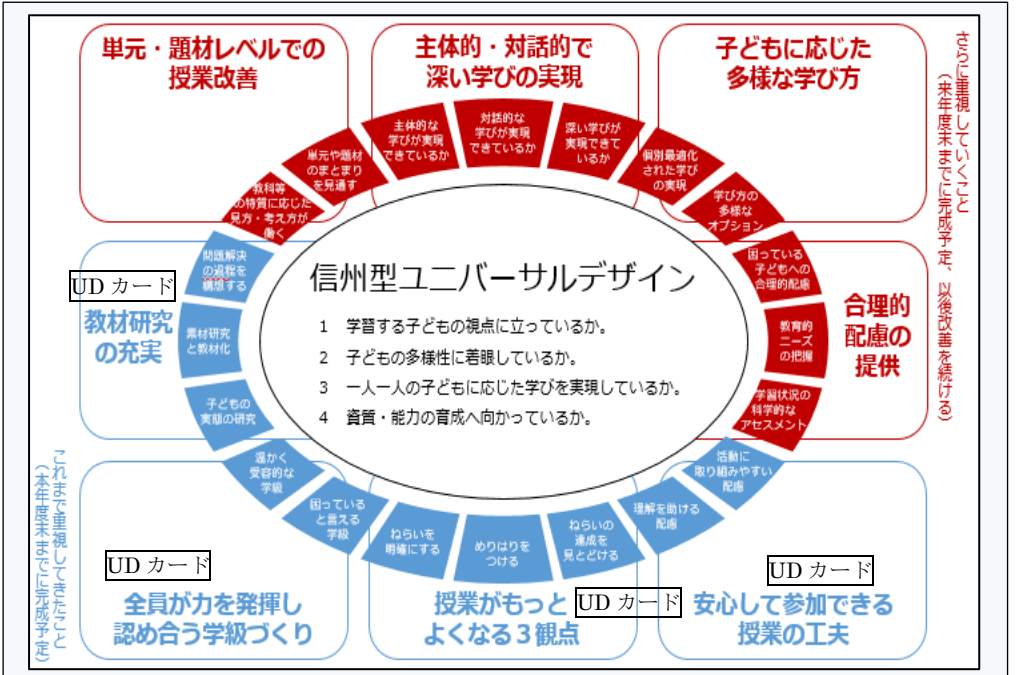
信州型 UD 事業では、次のような授業・子どもたち・先生方を目指しています。

子どもたちが主体的に学び、仲間と共に解を導き出す授業

自分らしく学ぶことのできる子どもたち

よりよい授業を求めて、共に学び続ける先生方

こうなるために… ↓ ↑ こうなるだろう…



上の図にある、8つの窓口、20の着眼点から視点を絞り、4つの窓口のUDカードを活用した、次のような研修の機会を設けてみましょう。

指導主事・UDリーダーによる、研修会などで

研究主任が職員会議の中で進めるミニ研修会で

学年会などちょっとした時間を活用して(数人でも)

この研修会は、日々の実践を振り返ることをきっかけに、明日の実践へのヒントを見いだす研修です。UDカードを基に互いの取組を共有し合うことで、よりよい授業づくりへと向かうことができます。UDカードの右下部分に、研修日を記録する欄があります。定期的に行い、その時の振り返りを記録しておくことで、自身の変化にも気付くことができます。

進め方を支援する動画もあります。各校の研究、授業改善をより進めていくために、ぜひ1回やってみることをお勧めします。



信州型 UD 事業推進校  
塩田西小・城下小  
の取組

- ★信州型 UD の視点を指導案に明記し、授業を見る視点にする。
- ★学期のはじめと終わりに UD カード研修を設け、自己課題について仲間と振り返る。

※参考にしてみてください。

## 特集 「初任者研修 授業力向上 研修Ⅰ」より

初任者の先生方はどんな授業に出会ったのでしょうか。



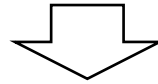
### 先輩の授業に学ぶ ～授業づくりの工夫～

5月14日(火)に授業力向上研修Ⅰを行いました。管内の小中学校で先輩の授業を見て、学び合う時間となりました。A中学校の生徒が学びを深める先輩の授業を通して、初任者の先生方が学んだことを紹介します。

#### 社会科 「第一次世界大戦の始まりと総力戦」の授業から

日清戦争、日露戦争と第一次世界大戦の戦死者数の比較を通して、「戦死者が増加したのはなぜだろう」について考える授業でした。生徒の予想から「戦死者が増加した背景には何があったのか？」という学習課題が設定され、資料を基に自分の考えをもったり、グループでそれぞれの考えを共有したりしました。

1つの資料の読み取りのみで自分の考えを記述したり、グループによっては自分の考えを発表しあうのみで終わっていたりする生徒の姿から、M先生は生徒が様々な考えと出会い、自分の考えと比較したり、関連付けたりして、多面的多角的に深めてほしいと考えました。



#### M先生の授業づくりの工夫

必要に応じて、**移動して、グループ以外の友達との情報交換する場と時間を確保**

グループを超えて情報交換することで、他の資料に目を向けて、自分の考えと照らし合わせたり、友達の資料の読み取り方を聞いて、自分の新たな考えを書き加えたりする姿がありました。



生徒の姿から授業を創り上げていく先輩の姿を見ることができました。



#### 初任者の先生方が学んだこと

- 生徒がより幅広い考えを持つための学びを支える教師の支援方法を知ることができました。
- 教師主導ではなく、生徒が自分たちで考えることを大切にした授業を目指したいと思いました。
- 生徒の学びの姿を捉え、それに合わせた活動を取り入れるM先生のような対応を心がけていきたい。

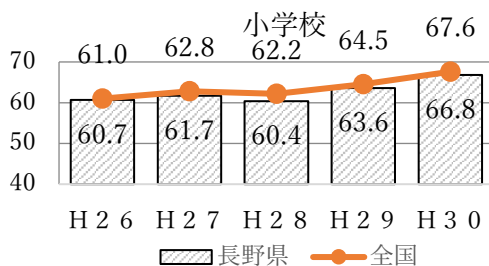
## 家庭学習の充実を考える①

### 夏休みの家庭学習を見直してみませんか？



新しい小学校（中学校）学習指導要領総則「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」において、「児童（生徒）が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、児童（生徒）の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること」が示されました。

また、全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙の中の「家で、計画を立てて勉強していますか」について、長野県の子どもたちの肯定的な回答の割合は年々高まっています。



平成30年度「夏休み期間のあり方検討委員会」では、夏休みが子どもたちの主体的、自律的な学びの場となるよう、例えば、一斉一律の宿題を見直すことを提案しています。

これから始まる夏休みの家庭学習も一斉一律の家庭学習を見直すチャンスです。各自の課題に合わせて自分で計画して取り組める家庭学習となるよう、教科会や学年会、職員会議等で検討を進めましょう。

### 「できる、できる。これならできる」

A中学校2年生の跳び箱運動の授業でこんな場面に出会いました。「4段でも台上前転ができるようになりたい」という目標をもったYさんは、勢いよく助走するのですが、踏み切るところで止まってしまい、何度試技をしてもできませんでした。

「あ～だめか」と重たい空気が流れ始めたそのとき、Yさんは意を決したようにO先生のところに走っていき、「1段目の上にマット敷いてもよいですか」と練習方法の提案をしました。O先生は快くYさんの提案を受け入れ、一緒に跳び箱の上にマットを敷きました。マットが敷かれた跳び箱を見たYさんは笑顔で「できる、できる。これならできる」と友達に話した後、勢いのある助走から力強く踏み切りをして見事、1回もできなかった4段での台上前転を成功させることができました。



マットを敷くという「ちょっとしたきっかけ」は、前時までの追究で得た「跳び箱の上にマットを敷くと踏み切れる」というYさんの手ごたえです。さらに、その手ごたえを認めたO先生がいたからこそ、Yさんは思い切って試技をすることができたのだと思います。

YさんとO先生の姿から、授業の中には、「ちょっとしたきっかけ」がたくさんあり、そのきっかけを基に柔軟に対応する教師の支援が子どもの「できる」ための大きな力になるのだなと感じました。（文責：中澤 卓二）

## 連載

### 「舎窓から」





# 研修会のお知らせ

## 東信地区人権教育研修会

7月30日(火)

9:15~12:00

大豆島隣保館

13:30~15:40

若穂公民館川田分館

内容

- ・解放子ども会の活動の様子
- ・大豆島・川田地区の歴史
- ・フィールドワーク

## 人権教育リーダー研修会 (東北信)

8月29日(木)

10:00~15:45

千曲市更埴文化会館

内容…①全体講演

「女性の人権を考える」

元長野県男女共同参画審議会委員

気賀沢 葉子さん

②ほか4つの分科会

「放課後児童クラブ」や  
「子ども教室」のことだよ!

## 放課後子ども総合プラン 研修会

8月27日(火) 9:00~12:10

東信教育事務所2階講堂

内容…講演

「発達障がいへの理解と支援」

松本大学総合経営学部総合経営学科

准教授 矢崎 久さん



# 夏休み中の職員研修会に伺います

生涯学習課

二学期以降も同様です

○信州型**コミュニティスクール**をどうやって  
発展させていけばよいか知りたいな・・・



○子どもの**体力向上**へのヒントが欲しいな・・・

○**部活動**運営を外部の方とも共通理解で進めるには・・・

○人権教育の研修会をどう進めればいいのか・・・

○学級経営力や子どもたちの**コミュニケーションスキル**を  
高めたい！

「こんな研修会は可能・・・？」  
と思ったら相談ください。

## ～みなさんからの声～

- ・職員同士の会話が増えた！
- ・学校での笑い声、笑顔が自然に出てきた。
- ・指導主事に来てもらうと研修の準備など楽になった。

## 簡単！

派遣までの流れ

- ① 生涯学習課に電話で問い合わせる  
(担当主事が、期日の調整 研修内容等の相談に応じます)
- ② 派遣申請書を送る (下記参照)
- ③ 研修会の事前確認 (担当主事から)
- ④ 当日の研修

派遣申請書の形式例です。  
参考にしてください。



令和元年 (2019年) 月 日  
東信教育事務所長 様

〇〇立〇〇学校長  
〇〇 〇〇

〇〇研修会の講師派遣について(依頼)

このことについて、下記のとおり開催します。

つきましては、貴所 指導主事 様を講師として  
派遣くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 平成 年 月 日 ( ) : 00 ~ : 00
- 2 場所
- 3 内容(研修会名)
- 4 その他

お問い合わせ・連絡先  
東信教育事務所 生涯学習課  
0267-31-0252